

前記金一封ノ五十円ハ一人當リノ意ニ解シ多クノ望  
ヲ懐キ タルカ誤謬ナリシコト判明シテ停頓ヲ  
末タスニ至リ交渉ヲ打切り固クヲ促シテ退出セリ  
右及申(通)休候也

11.22
522

勞社第二八二二號  
昭和四年十一月二十一日

總務視察監 丸山鶴 告

内務大臣 安達謙藏 殿  
社會局長 官 殿  
京都大阪神奈川兵庫各府縣知事 殿

細井ヤ又リ工場労働爭議ノ件 (第三報 経過)

十一月十九日、會見ニテ、請負職工ノミハハ割四分位下ニ会社側ナリ、譲歩  
セシヲ以テ大部分兼議セルモノ、却煽動者ノタメ未解決ニ終リ、本二十  
日再會見ノ予定ニシテ、近ク解決ノ曙光見ユタリ

標記爭議ニ関シテハ本月十六日附勞社第三七八八號ヲ以テ既報  
ノ通りナレバ其後ノ経過左記ノ通ニ有之

記

ハ会社側

本月十九日職工側ニ對シ請負職工ノミニ對シテハ賃銀ニ割四分